

栄公民館 まつり

展示の部

3月9日(土)・10日(日)
10時▶16時

発表の部

3月24日(日)13時▶15時

問い合わせ 栄公民館 ☎53-6688

1年間、栄公民館で生涯学習グループなどが学んだ成果を発表します。
展示の部は、どの作品も頑張って完成させました。子どもたちのかわいい作品もお楽しみに。
発表の部は、練習を重ねてきた歌や踊り、空手の子どもたちの板割りなどの演技披露があります。また、パン教室の皆さんによる歌声喫茶コーナーもあります。ぜひ、友達や家族と一緒にご覧ください。

展示の部

手描友禅、川柳、水彩スケッチ、筆ペン習字、写楽会、絵手紙、大竹パソコンクラブ、布あそび、デジタルメサークル、ハングル講座、ひまわりさかえこども園、よつばクラブ

発表の部

吟道天水流吟詠会、太極拳エンドレス、日本舞踊、栄コーラス、空手志空館、大正琴、大竹高校吹奏楽部(特別出演)

喫茶コーナー(生演奏があります)

とき 3月9日(土)、10日(日)、24日(日)

総合市民会館 まつり

1年間の成果をご覧ください

展示の部

3月16日(土)10時▶17時
17日(日)10時▶15時

発表の部

3月17日(日)
10時30分▶14時ごろ

問い合わせ ☎535800

1年間の生涯学習グループ活動の成果を発表します。総合市民会館、おがたピアで活動している生涯学習グループの皆さんが、合同で作品展示とステージ発表を行います。ぜひ来館してください。
※作品の販売も予定。

生涯スポーツで元気なまちに

募集 スポーツ推進委員

スポーツ推進委員は、生涯スポーツの振興を図るため教育委員会から委嘱され、市内で活躍しています。

主な業務

○スポーツの実技指導
○スポーツ活動促進のための組織の育成
○市や各種団体が行うスポーツ・健康づくり事業への協力
○スポーツへの理解を深めるための啓発活動

問い合わせ

スポーツ推進委員協議会事務局
(生涯学習課内) ☎536677

任期

令和6年4月1日から令和8年3月31日(2年間)

報酬

月額7200円

申し込み

こちらのQRコードから



申し込みはこちらのQRコードから



活動内容の詳細は、こちらのQRコードから

市民卓球大会

問い合わせ

卓球協会事務局
(伊藤宅) ☎532958
日中連絡先 ☎090-4653-7580

とき

3月24日(日)9時30分(9時受付)

ところ

対象

①②いずれかに当てはまる方
①市内在住または通勤・通学している
②当協会に加盟登録している団体に所属している

種目

○混合ダブルス(年齢制限なし、女性同士および65歳以上の男性ペアの出場可)
○中学生男子・女子のダブルス・シングルス

シングルス

○小学生男子・女子のシングルス
※小・中学生の種目の出場者は、混合ダブルスには出場できません。

試合方法

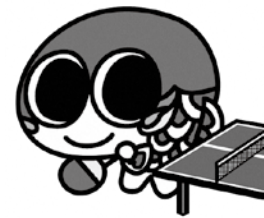
予選リーグ後、各ブロックの決勝トーナメントを行います。

参加料

一般(高校生以上) 1人300円
小・中学生1人200円

申し込み

3月14日(木)までに総合市民会館、玖波・栄の各公民館に備え付けの用紙で申し込んでください。



設立30年記念 藤美会 舞踊公演

問い合わせ

藤間 舞美苑
☎090-2293-2820

文化協会民舞部の藤美会が、設立30年を記念して舞踊公演を開催します。

とき 3月10日(日)
12時開演

ところ アゼリアおおたけ



2月12日 玖波公民館まつりの舞台から

親と子の本の広場

あいいく館 18年の歴史に幕

問い合わせ

あいいく館
(杉嶋携帯) ☎090-2298-9624

ボランティア団体『親と子の本の広場 あいいく館』は3月16日(土)の『さよならあいいく館』で閉館します。

約18年の間、あいいく館で楽しんだ約4000冊の本やおもちゃは、これからも絵本を読んだり借りたり、おもちやで遊んだりできるようにという思いで、市内の子育て支援施設、アゼリアおおたけ、市立図書館などに置く予定です。(おもちやは子育て支援施設に設置予定)

また、あいいく館から生まれたボランティアグループ2組が、どんぐりH.O.U.S.Eやアゼリアおおたけで、読み聞かせを予定しています。楽しみにお待ちください。

「さよならあいいく館」について詳しくは、25ページの情報ステーションをご覧ください。

絵本は言葉と心を育てる～杉嶋さんの思い～

あいいく館の原点は、1970年までさかのぼります。当時、学校に図書室はあっても貸し出しはなく、図書館もない中、子どもたちのために、所蔵している絵本などを貸し出す「杉の子文庫」をはじめた杉嶋さん。他にも文庫が開かれ、図書館が開館した年に杉の子文庫を閉じ、17年間大竹を離れます。帰って来た2006年に、閉園した「愛育園」の一部を借り受け、文庫と子育て支援を兼ね備えた「あいいく館」を開き、赤ちゃんやお母さん、お父さんや小学生まで遊びに来るような施設になりました。

変わらぬこだわりは、「本は全て、棚に入れる前にしっかり読み、いい本を置く」、「読み語りをする絵本は、子どもたちの年齢や好みなどに合わせて選ぶ」の2つ。赤ちゃんから小学生になるまで通い続ける子や、スタッフになる子がいるほど愛される理由が垣間見えたような気がします。杉嶋さんは、「絵本は子どもたちの言葉と心を育てる。『優しい』という言葉を、ただの『イロハ』ではなく、物語などから学び、五感(心)で習得することができると子どもたちの成長の根っことなる絵本の大切さを語ってくれました。



あいいく館 館長 杉嶋 壽子さん (83歳)